

平成26年度 佐渡市 保健部 活動報告

部長 坂野 優子

1 研修活動の方針

昨年度まで、保健部は保健主事と養護教諭とで構成され研修を行ってきた。養護教諭が保健主事を兼任している学校が多いことから、今年度より養護教諭部と一本化され、名称が保健部となった。児童の健康問題などへの活動に対応できるよう、会員一人一人の資質の向上を図るための研修を実施した。

今年度は、「見て、触れて、ワクワクする掲示物」をスローガンとして、子どもが学べる掲示物の作成をめざして研修を進めた。

2 活動の概要

- (1) 日時 平成26年8月6日(水) 午後1時30分～4時30分
- (2) 会場 トキのむら元気館
- (3) 研修の内容
 - ・「保健指導資料の紹介及び作成」
 - ・情報交換



3 研修の実際(会員24名中22名参加)

(1) 保健指導資料作成

会員から、手作りの掲示物の紹介があった。シーズンとして、2学期に活用できるものということで、10月の「目の健康」の掲示物作りを行った。使用する材料を工夫することで、インパクトのある資料ができた。

(2) 情報交換

「子ども若者相談センター」から、新設にあたっての活動の様子について説明があった(就学や教育の相談・子どもの発達・子育て、家庭に関する相談などの支援)。学校と連携して対応していかなければならないことが多いことから協力していきたい。

4 活動を終えて

「見て、触れて、ワクワクする掲示物」の作成をめざして、手作りの掲示物を会員の方から紹介してもらった。10月の保健指導で、各学校で活用されたと思う。10月の視力検査で、自分の結果と資料を確認している姿が見られた。来年度も、保健活動や保健管理面に役立つように研修会を進めたい。

